

平成29年度 Extra 5 応用動物科学セミナー

農・獣医学系出身者による 「感染・炎症・免疫」領域での研究

- 13:00 – 13:45 発生工学的アプローチによる炎症性疾患モデルマウスの作出と解析
角田 茂 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 13:45 – 14:30 生体による核酸認識と自己免疫疾患/自己炎症性疾患の関係
柴田 琢磨 (東京大学医科学研究所)
- 14:30 – 15:15 生体イメージングによるT細胞免疫応答制御機構の解析
石亀 晴道 (理化学研究所統合生命医科学研究センター)
- 15:15 – 15:30 休憩
- 15:30 – 16:15 肺炎球菌感染症とその排除機構
小川 道永 (国立感染症研究所細菌第一部)
- 16:15 – 17:00 インフルエンザウイルスのゲノムパッケージング
村上 晋 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

● 1月17日(水) 13:00 ~ 17:00
フードサイエンス棟中島董一郎記念ホール

● 本講演は獣医学専攻博士課程「平成29年度第3回生体防御学特論」として行われるものですが、担当教員の厚意により本専攻の学生にも公開するものです。「動物科学のフロンティア」の講義としてはカウントしませんので、レポートの提出は必要ありません。

● 問い合わせ先： 獣医学専攻実験動物学教室 角田 茂 准教授

☎ 03-5841-5037

✉ akakuta@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp